



週間情報



No.0436

発行日 令和4年9月27日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03(3234)1321

消防本部の動き

訓練

◆ 水災対応訓練を実施

稲敷広域消防本部（茨城）

稲敷広域消防本部では、令和4年9月9日（金）、水災対応訓練を実施しました。

この訓練は、国内で豪雨災害が頻発していることを踏まえ、水災時における指揮本部の運用や災害対応の強化を目的に実施したものです。

訓練では、災害情報の早期伝達を行うため、高機能指令装置の新機能「大規模災害モード」について検証しました。

また、消防庁舎が被害を受けた場合でも消防活動を継続するため、業務継続計画（Business Continuity Plan）に基づき、株式会社三和油化工業茨城事業所をはじめとする管内複数事業所の協力を得て、消防機能を移転する訓練を実施しました。

今後も、訓練と連携を重ね、さらなる体制強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

研 修 等

◆ 記念講演会を開催

吉川松伏消防組合消防本部（埼玉）

吉川松伏消防組合消防本部では、令和4年9月11日（日）、設立50周年記念講演会を開催しました。

当消防本部は、令和3年4月に設立50周年を迎えていましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、本記念講演会の開催を延期していたところです。

講演会では、一般社団法人日本防災教育訓練センター代表理事のサニーカミヤ氏を講師にお招きし、消防の現状とこれからの課題と対策についてご講話いただきました。

今後も、ご講演いただいた内容を踏まえ、消防職員一丸となり、市町民の安心・安全のため尽力してまいります。



【講演会の様子】

◆ 自衛消防訓練（指導員育成）勉強会を実施

那覇市消防局（沖縄）

那覇市消防局では、令和4年9月12日（月）、当局庁舎内において、職員を対象にした自衛消防訓練（指導員育成）勉強会を実施しました。

この勉強会は、自衛消防訓練の指導を行うに当たり、自衛消防活動を消防職員が自ら体験することにより指導の視野を広げることや、指導方法の統一を図ることを目的に実施したものです。

当日は、防火・防災管理に関する法令などを再確認した後、地震発生時を想定したシミュレーション検証を行い、防災センターの職員や統括防火管理者の役割を指導するポイントを確認しました。

今後も、消防職員の指導技術の向上を図り、災害対応力の高い安全・安心なまちづくりに取り組んでまいります。



【シミュレーション検証の様子】

◆ 通信指令員スキルアップ研修を実施

筑後地域消防指令センター（福岡）

福岡県南部の7消防本部で共同運用する筑後地域消防指令センターでは、令和4年9月13日（火）、14日（水）の2日間、当指令センターの通信指令員及び共同運用消防本部の職員を対象に、通信指令員スキルアップ研修をオンライン方式で実施しました。

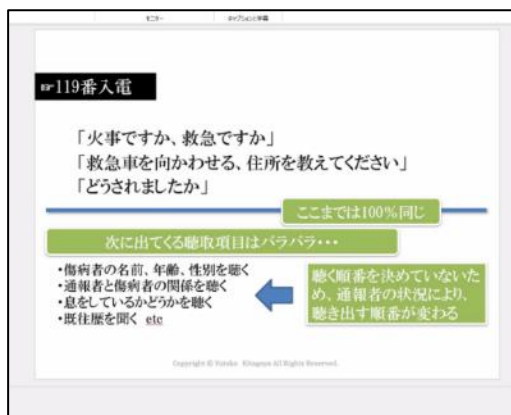
この研修は、京都橘大学の講師をお招きし、初動活動の要である指令センターの重要性を再認識するとともに、通報者とのコミュニケーションスキルの向上など、通信指令員の能力強化を目的として実施したものです。

研修では、心理学や緊急時のコミュニケーション、通報内容から判断する緊急度判定、聴取要領や情報伝達のポイントなどについてご講義いただきました。

今後も、地域住民の要望に的確に応えることができるよう、通信指令員の能力強化に努めてまいります。



【研修の様子】



【研修資料】

◆ ハラスメント研修会を実施

郡山地方広域消防組合消防本部（福島）

郡山地方広域消防組合消防本部では、令和4年9月15日（木）、消防本部講堂において、ハラスメント研修会を実施しました。

この研修会は、一般社団法人日本防災教育訓練センター代表理事のサニーカミヤ氏をお招きし、消防におけるハラスメント事例、組織的なハラスメント対応策、職員個人としての考え方や行動等についてご講義いただきました。

当日は、職員約30人が出席したほか、各所属へオンラインで映像を配信し多くの職員が受講しました。また、各自の体験を共有するなどしてコミュニケーションを図りながらハラスメント対策について学びました。

当消防本部では、毎年、ハラスメント防止の研修会を行い、ハラスメントを「しない」、「させない」、「見過ごさない」職場環境を目指しています。

今後も、職員一人一人が当事者意識をもって、より働きやすい職場を目指してまいります。



【研修会の様子】

そ の 他

◆ 人命救助活動功労者に感謝状を贈呈



【感謝状贈呈後の記念撮影】

千曲坂城消防本部（長野）

千曲坂城消防本部では、令和4年9月9日（金）、人命救助活動功労者に感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和4年8月2日（火）、千曲市内の用水路において、90代の女性が転落し、流されそうになっていたところを、近隣の住民4名が連携して救助したものです。

当日は3名の方が出席し、もう1名には後日、感謝状を贈呈しました。

住民の的確で勇気ある行動により、尊い命が救われました。

◆ 音楽隊が演奏会を開催

衣浦東部広域連合消防局（愛知）

衣浦東部広域連合消防局では、令和4年9月9日（金）、管内の保育園において、消防局音楽隊による演奏会を開催しました。

当音楽隊は、消防職員で編成しており、音楽を通じた火災予防普及啓発を行っています。

新型コロナウイルス感染症の影響のため、約2年半ぶりの演奏会となりました。

演奏会では、子どもに人気のアニメ曲を中心に6曲を披露しました。園児が曲に合わせて手拍子をしたり、踊ったりと大変盛り上がり、とても楽しく演奏することができました。

今後も、演奏を通じて火災予防普及啓発に努めてまいります。



【演奏会の様子】



【演奏会後の記念撮影】

◆ 「防カルくん」の模型の寄贈を受け寄贈式を実施

加古川市消防本部（兵庫）

加古川市消防本部では、令和4年9月9日（金）、市内の加古のみやこども園の園児が製作した当消防本部のオリジナルキャラクター「防カルくん」の模型の寄贈を受け、寄贈式を実施しました。

この作品は、段ボールや新聞紙などで製作され体長が約2mあり、土台に火災予防啓発の旗を立てることもでき、誰もが「おっ！」と驚くインパクトのある作品に仕上がっています。完成後は、中央消防署に寄贈されました。

寄贈式では、「防カルくん」に対して消防職員の辞令を交付し、これから消防士の一員として火災予防啓発の一翼を担ってもらう予定です。



【防カルくん】



【製作の様子】

◆ あつぎ救急フェアを開催

厚木市消防本部（神奈川）

厚木市消防本部では、令和4年9月10日（土）、あつぎ救急フェアを開催しました。

このフェアは、救急車両展示や応急手当講習等を実施したものです。

当日は、天候にも恵まれ、約1,600人の地域住民が来場し、普段はなかなか見ることができない救急車内の資器材を間近に見てもらう機会となりました。救急隊員の説明を聞く子どもたちの顔は、とても輝いていました。

また、応急手当講習のブースでは、大人から子どもまで、真剣に参加していただき、応急手当の重要性、救急業務への理解と認識を深めることができました。

今後も、救急車の適正利用と応急手当の普及啓発に努めてまいります。



【救急フェアの様子】



【応急手当講習の様子】

◆ 「ＱＱひろば」を開催

川西市消防本部（兵庫）

川西市消防本部では、救急医療週間の活動の一環として、令和4年9月10日（土）、商業施設アステ川西内のぴいぷう広場において、「ＱＱひろば」を開催しました。

このイベントは、地域住民の皆さまに救急業務と救急医療について正しい理解と知識を深めてもらうことを目的に実施したものです。

当日は、心肺蘇生法の体験コーナーや、心臓に見立てたポンプを押して水流を生み出すゲームなど、楽しみながら救急業務に触れてもらえるよう工夫しました。

今後も、救急隊と地域住民が触れ合えるようなイベントを継続してまいります。



【「ＱＱひろば」の様子】

◆ 「もりまち消防ふれあい広場」を開催

森町消防本部（北海道）

森町消防本部では、令和4年9月11日（日）、「もりまち消防ふれあい広場」を開催しました。

このイベントは、地域住民に防火や防災、消防行政への理解を深めてもらう目的で開催したものです。

当日は、消火器の取り扱い、煙体験、消防車からの放水などを各ブースで体験してもらったほか、森町防災士ネットワークが、非常用持ち出し品の展示と紹介を行うなど、日頃からの備えの大切さを感じてもらう良い機会となりました。

また、救急現場や救助活動を想定した訓練の展示を実施した際は、普段あまり見ることでできない訓練の様子に来場者からは大きな拍手が送られていました。



【放水体験の様子】



【訓練の展示の様子】

◆ 「救急フェア2022」を開催

うるま市消防本部（沖縄）

うるま市消防本部では、令和4年9月11日（日）、イオン具志川店において、「救急フェア2022」を開催しました。

このイベントは、たくさんの来場者に救急車の適正利用や救急業務への理解を深めることを目的として開催したもので、市民の健康相談、応急手当の体験コーナー、救急車や消防車などの展示を行いました。

当日は、人命救助功績者に対して感謝状の贈呈を行いました。また、一日救急隊長として委嘱されたバンドHY（エイチワイ）のメンバー許田信介さんに救急車の適正利用の啓発活動、応急手当の実演を披露していただきました。



【応急手当の実演の様子】



【イベント後の記念撮影】

◆ 消防職員が点検報告書を作成

春日・大野城・那珂川消防組合消防本部（福岡）

春日・大野城・那珂川消防組合消防本部では、令和4年9月14日（水）、庁舎設置の消防用設備等（消火器）の点検と報告について、消防職員自ら点検、報告書を作成しました。

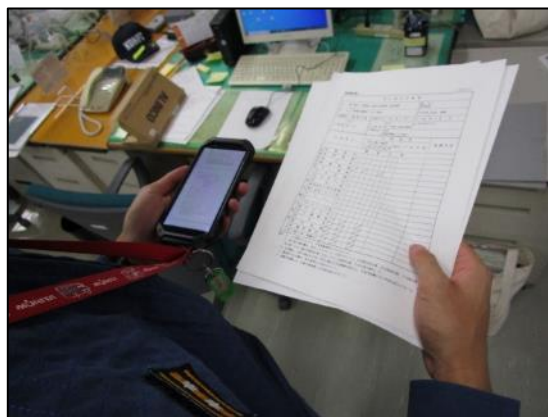
この取り組みは、経費の削減、予防知識の向上を図ることを目的として、総務省消防庁の「消火器点検アプリ」を使用し、実施したものです。

同アプリを初めて操作する職員も多くいましたが、スムーズに点検と報告書の作成を行うことができました。

今後も、防火対象物関係者への火災予防指導に努めてまいります。



【点検の様子】



【報告書作成の様子】

消防庁通知等

◆ 消防法施行令の一部を改正する政令等の公布について

(消防予第416号、令和4年9月14日)

消防庁次長から各都道府県知事、各指定都市市長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

消防法施行令の一部を改正する政令（令和4年政令第305号。以下「改正政令」という。）、消防法施行規則の一部を改正する省令（令和4年総務省令第62号。以下「改正省令」という。）、消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件（令和4年消防庁告示第5号。以下「改正告示第5号」という。）、消防法施行規則第三十一条の七第二項において準用する消防法施行規則第一条の四第十項の規定に基づく登録講習機関の行う講習に係る基準の一部を改正する件（令和4年消防庁告示第6号。以下「改正告示第6号」という。）、消防法施行規則第三十三条の十七第三項の規定に基づく工事整備対象設備等の工事又は整備に関する講習の実施に関し必要な細目の一部を改正する件（令和4年消防庁告示第7号。以下「改正告示第7号」という。）及び不活性ガス消火設備の閉止弁の基準（令和4年消防庁告示第8号。以下「閉止弁基準」という。）が令和4年9月14日に公布されました。（別添省略）
—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/61e7300d31570d1c235d5c18b7de588569c43147.pdf>)

に掲載されています。

報道発表

◆ 消防法施行令の一部を改正する政令（案）等に対する意見公募の結果及び改正政令等の公布 (令和4年9月14日、消防庁)

消防庁は、消防法施行令の一部を改正する政令（案）等の内容について、令和4年7月15日から令和4年8月18日までの間、国民の皆様から広く意見を公募したところ、17件の御意見がございました。この結果を踏まえて、本日、「消防法施行令の一部を改正する政令」等を公布しましたのでお知らせします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/a396fab2e3ad184e3f9f7e7338925019a2b4c2ac.pdf>) に掲載されています。

(事務連絡先)

消防庁予防課 米田課長補佐、恩村

TEL 03-5253-7523 (直通)

FAX 03-5253-7533

情報提供

◆ 違反是正講演会等動画配信事業（オンデマンド配信）

主催：一般財団法人日本消防設備安全センター

後援：全国消防長会

日本消防設備安全センター（以下「安全センター」という。）では、平成14年度より全国の消防職員が推進する違反是正業務を側面から支援する機関として安全センター内に違反是正支援センターを設置し、違反是正推進に係る研修会等の開催や資料の作成等の事業を行っております。

本年度、安全センターの新規事業として総務省消防庁並びに代表消防本部による違反是正推進に係るご講演とともに、全国消防長会のご協力を得て令和3年度に実施した消防法令違反是正事例発表会における違反是正事例発表記録動画の一部を全国の消防職員を対象に配信する事業を企画いたしました。

多くの消防職員の方にご聴講いただき、違反是正推進の参考としていただければ幸いです。

1 配信期間

令和4年10月5日（水）～令和5年3月31日（金）

2 申込期間

令和4年9月26日（月）～令和5年3月24日（金）

3 参加費

無料 ※通信料は、ご自身の負担となります。

4 募集対象

消防職員（※消防職員以外の方は聴講できません）

5 講演内容及び講演者

(1)「予防行政の動向①」 ～総務省消防庁予防課

（大阪市北区ビル火災後の緊急立入検査の結果を踏まえた消防法令違反の是正の推進について）

(2)「予防行政の動向②」 ～総務省消防庁予防課

（消防庁の違反是正推進関係事業について）

(3)「東京における違反是正の推進」～東京消防庁

(4)「火災から命を守る避難の指針」～京都市消防局

(5)「違反是正への取り組み」 ～大阪市消防局

6 令和3年度発表会 事例発表動画（順不同）

札幌市消防局・釧路東部消防組合消防本部・盛岡地区広域消防組合消防本部・那須地区消防本部多治見市消防本部・奈良市消防局・高松市消防局

7 申込み及び聴講方法

- ・ 聴講を希望される方は、安全センターホームページから登録をしてください。
- ・ 配信及び聴講要領については、登録者に対し個別にメールにて送付いたします。
- ・ 登録者については、配信期間中いつでも聴講可能です

8 違反是正講演会等動画配信事業ページ

https://www.fesc.or.jp/ihanzesei/zesei_symposium/

9 問い合わせ先

日本消防設備安全センター 企画研究部 違反是正支援センター

E-mail：am-fesc@fesc.or.jp



機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0416）1ページ、機関誌「ほのお」2022年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 高田

原稿データは、kikakoho@fcaj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方にのみ掲載することがあります。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 高田

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方にのみ掲載することがあります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321「週間情報」担当：企画課 石原

原稿データは、weekly@fcaj.gr.jpに送信願います。